



# 令和3年度(2021年度)中学生チャレンジテスト(1・2年生) 豊中市の結果概要

令和4年(2022年)3月 豊中市教育委員会

## ●調査の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力を把握することで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育に生かす。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習の到達状況を正しく知ることで、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 大阪府教育委員会は、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。

## ●調査の対象学年

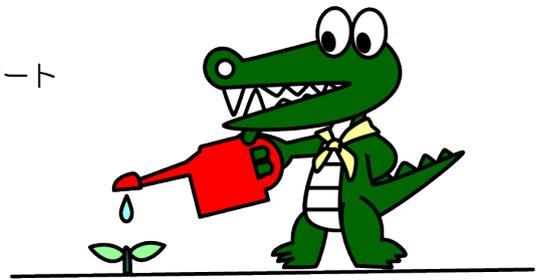
- 府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部、府立中学校及び支援学校中学部の第1学年、第2学年の生徒

## ●調査の内容

- 第1学年：国語、数学、英語、生徒アンケート
- 第2学年：国語、社会、数学、理科、英語、生徒アンケート
- 出題形式：選択式、短答式、記述式
- 調査時間：1教科あたり45分

## ●1月13日(木)に調査を実施した生徒数

- 第1学年：豊中市 3,067人 大阪府 59,675人
- 第2学年：豊中市 2,891人 大阪府 58,773人



## 生徒のみなさんへ

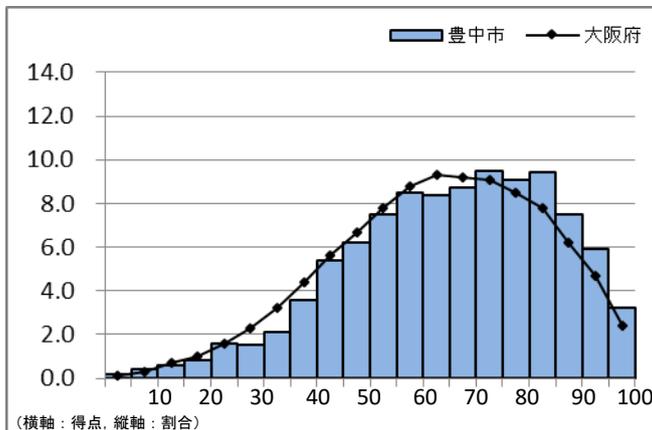
生徒のみなさんには、自分の結果について書かれたプリントが配られていますので、この結果概要とあわせて見てください。

この調査は、学習のゴールではなくスタートです。自分自身の学校・家庭での学習を振り返り、目標を持って、これからの学習計画を立てて取り組んでください。

※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

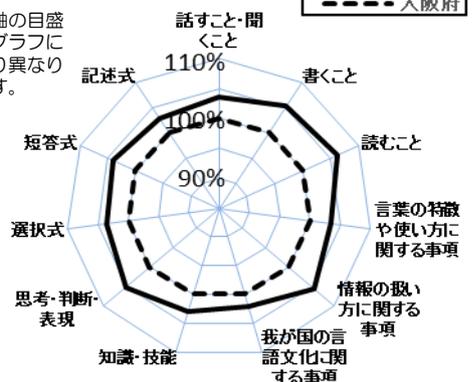
## 第1学年の結果概要(国語・数学・英語)

### 第1学年 国語



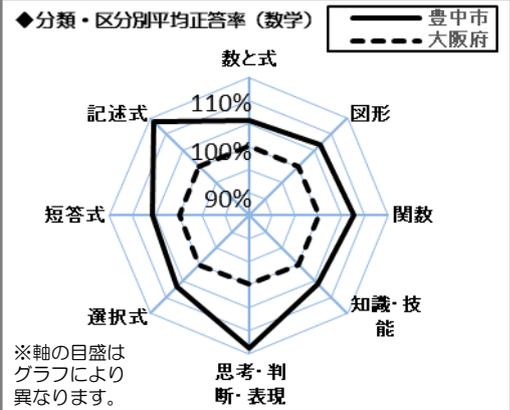
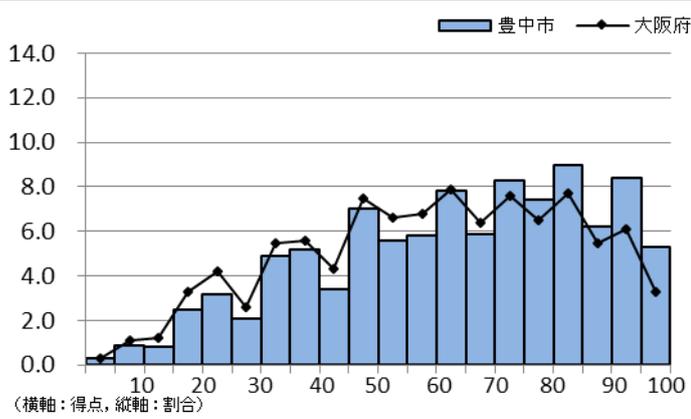
### ◆分類・区分別平均正答率(国語)

※軸の目盛はグラフにより異なります。



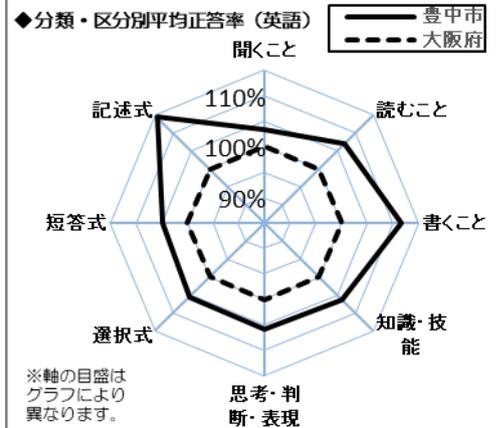
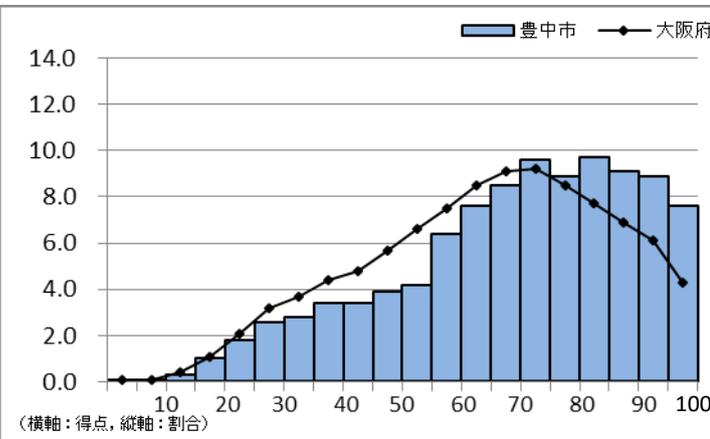
- 文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解したり、文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てたりすることについて概ね良好です。
- 「話すこと・聞くこと」の領域において、会話中から必要な情報を取り出して整理することについて課題があります。

## 第1学年 数学



- 正負の数の計算や、代入して式の値を求めること、垂線の作図など、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題については概ね良好です。
- 具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、文字を用いた式で表したり、文字式の意味を説明したりすることについて課題があります。

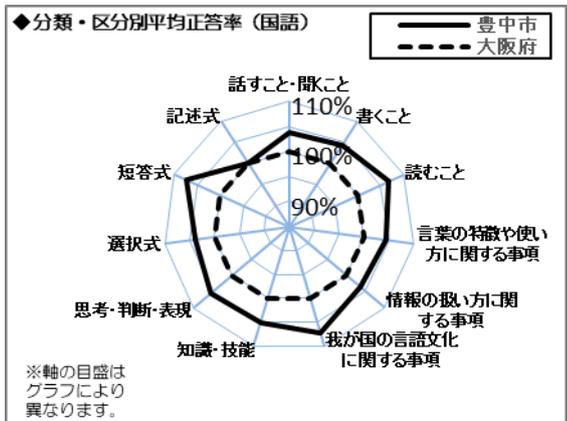
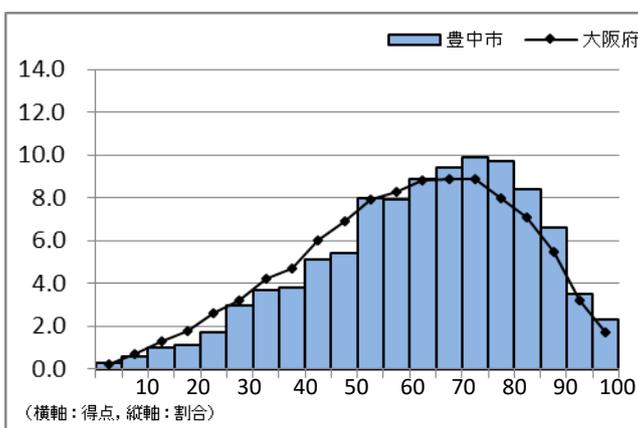
## 第1学年 英語



- 語や文法事項を理解して正しい文を書くことについて概ね良好です。
- 日常的な話題についての会話文等から、必要な情報を読み取ったり、内容の概要や要点を適切に把握したりすることについて課題があります。

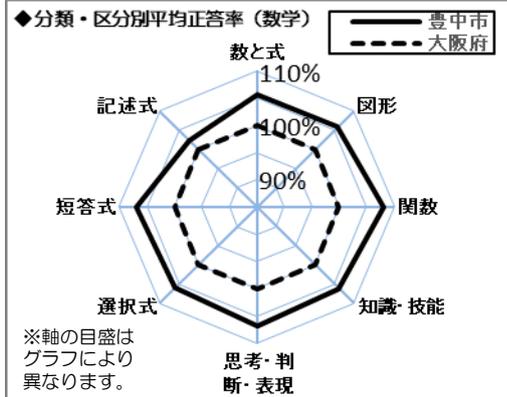
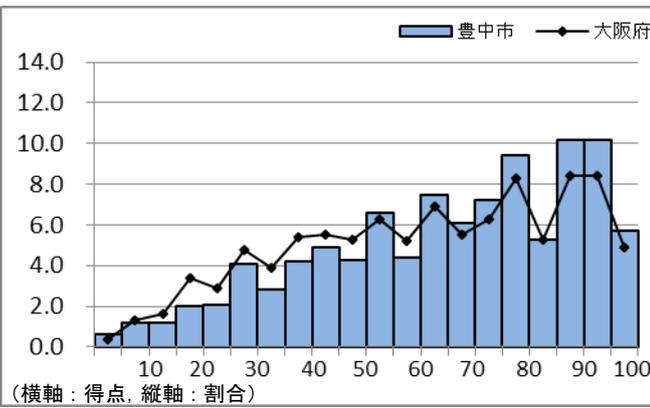
# 第2学年の結果概要(国語・数学・英語・社会・理科)

## 第2学年 国語



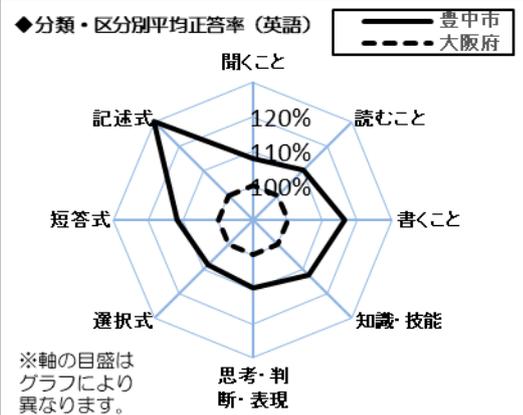
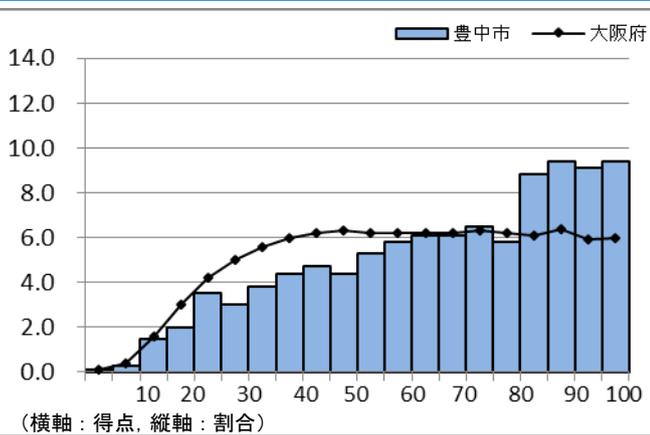
- 文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることについて概ね良好です。
- 読み手の立場にたてて文を整えることについて課題があります。
- 目的に応じて情報を集め、伝えたいことを明確にして記述することについて課題があります。

## 第2学年 数学



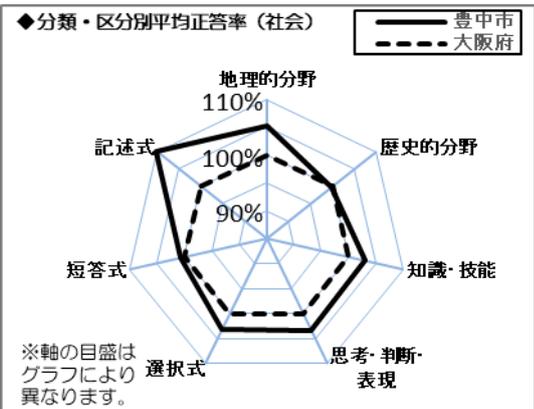
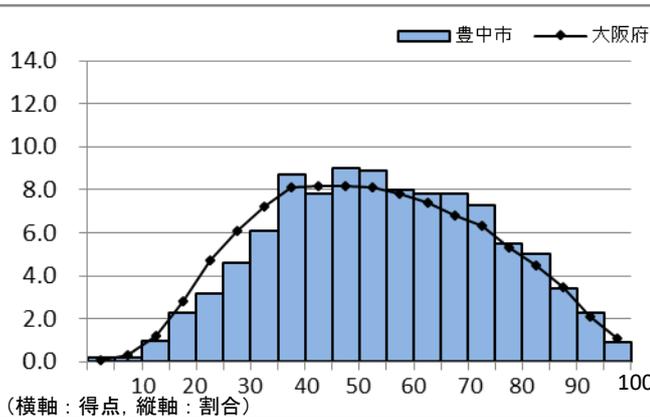
- 二元一次方程式の解の意味を理解したり、着目する数量から二元一次方程式をつくったりすることについて概ね良好です。
- 関数の領域で、変化の割合や直線の傾きを求めることについて課題があります。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明することについて課題があります。

## 第2学年 英語



- リスニング問題では、日常的な会話等で話し手の意向を理解したり、概要や要点を適切に聞き取ったりすることについて概ね良好です。
- スピーチ原稿において、与えられた情報に基づいて、指示された英文を書くことについて概ね良好です。
- 動名詞や疑問詞を用いて英文を完成させることや、メール文のやりとりを読み、内容の概要と要点をとらえることについて課題があります。

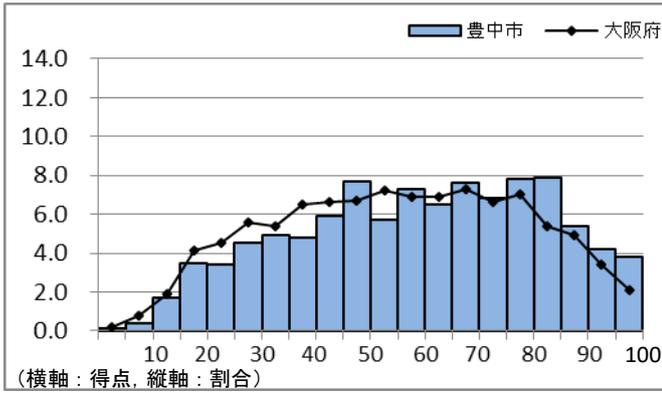
## 第2学年 社会



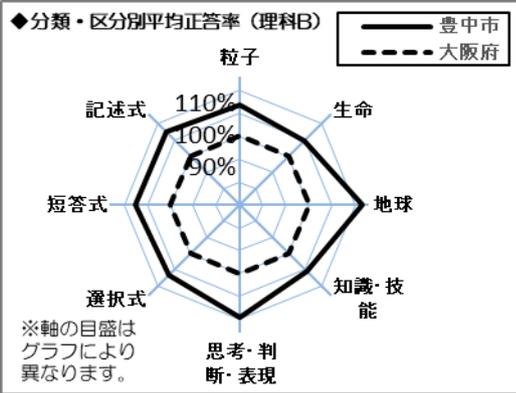
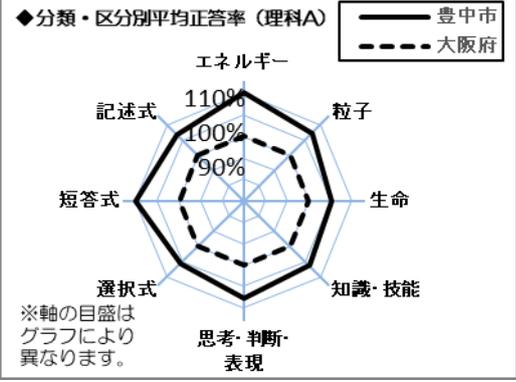
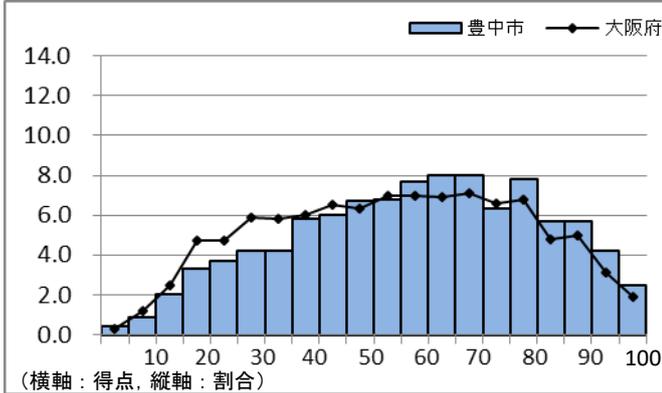
- 歴史的分野に比べ、地理的分野は平均正答率が高く、概ね良好です。
- 地理的分野の基礎的・基本的な知識を問う問題については概ね良好です。
- 地理的分野では、表や資料から情報を読み取り考察することについて課題が見られます。また、歴史的分野では、江戸時代に関する知識を問う問題について課題があります。

**第2学年  
理科**

**A**



**B**



- 理科A,Bともに、化学反応式や質量保存の法則等の「粒子」の領域における知識及び技能を問う問題については概ね良好です。
- 理科A,Bともに、対照実験について考察することにおいて課題があります。
- 理科Aでは、電流計の基本的な操作技能の理解については概ね良好ですが、ある条件を満たす回路の電流・電圧・抵抗の関係について考えることについては課題があります。
- 理科Bでは、露点についての理解や湿度を求める等の基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題については概ね良好ですが、実験結果から湿度について考察することについては課題があります。

生徒アンケート結果(肯定的回答の割合)	第1学年		第2学年	
	豊中市(%)	大阪府(%)	豊中市(%)	大阪府(%)
授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。	85.2	85.5	85.3	87.0
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。	83.2	84.1	86.8	86.8
授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。	84.9	83.2	87.7	84.2
授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。	77.6	73.5	81.3	77.7
授業中、間違っても笑われない。	80.6	81.7	81.6	83.7
自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。	58.2	52.5	57.8	49.4
テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。	79.1	76.4	79.5	76.4
普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。(2時間以上)	58.2	65.6	63.4	70.9

- 1,2年生ともに、「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている」と回答している生徒の割合が、大阪府よりも高くなっています。授業中、ノートやプリントに自分の考えを書くことも、考えを深めたり、広げたりすることにつながります。
- 1,2年生ともに、一日当たり2時間以上携帯電話やスマートフォンを使うと回答した生徒の割合が、大阪府に比べ大幅に少なくなっており、家庭学習の項目について肯定的に回答した生徒の割合が、大阪府に比べ多くなっています。

